

## 特進コース 2 日目 長崎市での平和学習の様子

◎平和祈念像で記念撮影をしました



◎浦上天主堂遺壁

爆心地公園の北東側に有る浦上天主堂の遺壁。すさまじい爆発の様子を伝える貴重な遺構です。



◎爆心地公園の東を流れる下の川の川岸には、原爆で破壊された家屋の瓦やレンガ、壊れた陶磁器の食器、熱によって溶けたガラスや焼けた土などが、当時のままに厚い層となって残されています。

## 5年生（高2）3日目の様子

鹿児島大学農学部での講義・先生方と交流を持ちました。

◎橋本農学部長様から農学部のご説明をしていただきました。



◎井倉先生の講義の様子

「将来、田舎で新しい仕事をつくっていききたい？」



◎大学生の方とも交流を深めました。

◎ 昼食も先生方と一緒に取り、交流を深めました。

## 午後からは、知覧に移動しました

◎写真は、「特攻の母」鳥濱トメさん像の前で、知覧の歴史、「大刀洗陸軍飛行学校知覧分教場」の話を聞きました。ガイドさんの話にどの生徒達も真剣に耳を傾けました。

知覧は戦争末期、航空機に250キロ爆弾を抱えて敵艦に体当たり攻撃を敢行する「特攻隊」の最前線基地となり、昭和20年3月からは毎日のように沖縄へ出撃していました。その出撃前のわずかな日々をトメさんの「富屋食堂」で過ごした隊員たちは、生徒達と同年代を含め、10代から20代の若者達でした。トメさんは、隊員らをわが子のように慈しみ、私財を投げ打ってまでも親身に接したとのこと。いつしか、「特攻の母」と呼ばれるようになっていました。

